

---

# リハビリテーション天草病院だより

---

2017年4月

No. 82



発行 埼玉県越谷市平方343-1／(医)敬愛会広報委員会

---

## 新年度を迎えるに当たって

医療法人敬愛会理事長 天草 大陸

年度が改まり、当法人にも4月1日付けで30数名の新人職員が入職し仕事仲間が増えました。これを機に今一度、当法人の一施設である病院の運営理念等について整理しておきたいと思います。この運営理念等は病院だけにとどまらず当法人の開設する全施設に共通するものであることを先ず以て確認しておきます。

今後、当院は患者さんから選ばれるような治療成績などの向上に間断なく取り組み、リハビリなら天草病院と言われるように「ブランド特化」を図っていくことが必要になります。「ブランド特化」のためには、他のリハビリ病院との差別化、言い換えれば、患者さんから全幅の信頼を得られる最も秀でた病院にしなくてはなりません。そのためには、常に自院の役割を明確にし、その役割を遂行していくための「基本理念」等を毎日の仕事の中で実行していかななくてはなりません。理念等に基づいて実行されているかどうか、その実行内容が正しいかどうかを検証するには自己評価だけでは独りよがりになってしまう可能性があります。そこで、最低限、第三者による評価が重要になって参ります。当院は、何年も前から、病院機能評価機構やISOの「優秀病院」として認証を受けております。

リハビリ病院は、診療報酬上3つのランクに分かれていますが、勿論、当院は最上位に位置し、かつ、若手の常勤3名のリハビリ専門医、他の医師は脳神経内科専門医等取得者で県内では「最強軍団」となっております。

以下に当院の基本理念等を示します。

### 《当院設置目的》

良質で効率的な回復期リハビリテーション医療を提供

☆上記医療を担う病院として、重要な課題は、脳卒中等の発症直後に入院する急性期病院（紹介元病院）及び当院退院後に維持期リハビリを担う通所リハビリや訪問リハビリ実施機関（当法人内施設でも鋭意実施中）との連携である。この連携なくしては当院の存在価値はなくなる。「良質で効率的」とは、高級大型車は乗り心地は良いが燃費が高くつき路地などでは小回りが効かず効率性で劣る。当院では高級小型車をイメージしている。

### 《当院運営基本理念》

患者さんに、安心・安全・満足を提供し、誰からも敬愛される病院を創造

☆当法人の名称「敬愛会」は基本理念を一言で表現したものである。

### 《当院運営基本方針》

#### ◎患者さんに対して

- ① 明るい快適で安全な療養環境の提供
- ② 学問的根拠に基づいたリハビリテーション医療の提供
- ③ あらゆる分野においての情報提供

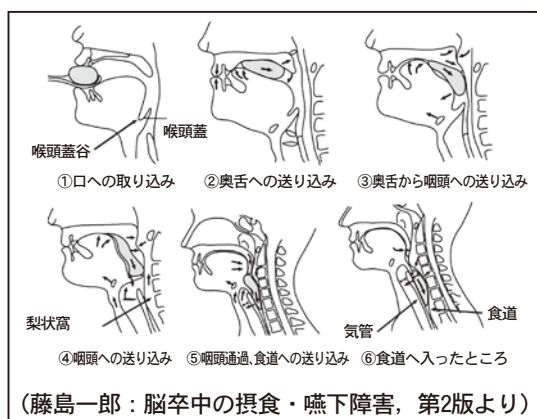
#### ◎職員に対して

- ① 明るい快適で安全な職場環境の提供
- ② やり甲斐、生き甲斐を持って仕事や研究ができる環境の提供
- ③ 仕事や研究等に見合った公平な処遇

## 摂食嚥下障害について

リハビリテーション部 主任 言語聴覚士 坂口 彩子

摂食嚥下とは「食べ物を目やにおいで認識し、口に入れ、噛んで飲み込み易くし、咽頭から食道、胃へ送り込むこと」をいいます。この一連の流れのどこかに問題が生じたときに起こるのが、摂食嚥下障害です。



摂食嚥下障害は、低栄養・脱水、誤嚥性肺炎、窒息、食べる楽しみの喪失といった問題を引き起こします。これに対し適切な評価・対応ができないと、症状が重症化してしまいますので、早期発見・対応が重要となります。

原因として最も多いのは脳梗塞などの脳血管障害ですが、高齢になると歯の欠損や入れ歯による噛む力の低下、飲み込みに関する筋力の低下、唾液量の低下、薬の副作用、不良姿勢などにより、嚥下障害を引き起こし易くなりますので注意が必要です。

では、嚥下障害の症状にはどのようなものがあるのでしょうか？「むせる」「食べ物を口からこぼす」「唾液が飲めない」「噛めない」「食べ物が口の中に溜まったまま飲み込めない」「食べ物が胸につかえた感じがあ

る」などといった症状があげられます。「むせる」といった際には『誤嚥(ごえん)』といって、食べ物が気管に入ってしまう、もしくは入りかけている可能性があります。誤嚥によって食べ物と共に細菌が気管に入り込むと、誤嚥性肺炎を発症する危険性が高まります。

嚥下機能の評価としては、口腔・嚥下器官の機能評価、反復唾液検査、水飲み検査などの簡易的な検査を行います。また食事をされている患者さんの場合は、食事場面の観察などを行います。更に、詳細な検査を必要と判断した場合には嚥下造影検査(以下：VF)や嚥下内視鏡検査(以下：VE)を実施します。

VFとは造影剤を含んだ模擬食品をX線透視下で飲み込んでもらい、口腔、咽頭、食道の動き、食べ物の動きを評価する方法です。

VEとは鼻咽腔ファイバースコープで、嚥下の諸器官、食べ物の動態などを直接観察する方法です。患者さんの状態に合わせて様々な検査を実施し、嚥下機能を評価します。

嚥下障害が認められた患者さんは、食べられなくなるわけではありません。飲み込み易くなるように調理の仕方を工夫したり、注意点を守りながら食事をすることで、安全に食事がとれるようになり、誤嚥のリスクが軽減していきます。

当院では摂食嚥下障害を認める患者さんに対して、医師、看護師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、介護職等多職種が連携し関わっています。嚥下外来も行っておりますので、お気軽にご相談下さい。

## 「だいじょうぶ だいじょうぶ」

春日部市 戸邊 ヨシ子

どうしてこのような病気になってしまったのか……。気がついたら左の手足が全く動かず驚きショックでした。入院前には、多くの人から天草病院に行くとりハビリが大変だという話を聞いていましたので、不安と心配な気持ちで入院しました。

入院時は車椅子から始まり、立っていることが出来ず、靴を履くこともままならない私、車椅子をこぐこともできず大変でした。どうして私だけこんなに辛い思いをしなくてはならないのか、不安いっぱい眠れなくなっていた時、リハビリの先生や看護・介護の方が「だいじょうぶ、だいじょうぶ」と体をさすってくださいました。そのだいじょうぶの言葉かけやスキンシップにより、私は元気をもらい心から救われました。スタッフの方々がとても優しい方ばかりで本当にホッとします。手足が麻痺していたのに、治療を受けて少しずつ動くようになった時には本当にリハビリのすごさを知りました。また看護・介護のスタッフの皆さんの優しいお世話と見守りのおかげでやっと一步一步ですが歩けるようになりました。超一流と言われるリハビリの先生方およびスタッフの方々の優しさに驚きです。本当に心温まるような優しさで、どうしてこんなに優しくできるのだろうかとも思います。

リハビリを頑張ろうと思うようにもなり、こんなに素晴らしいスタッフの方々に出会えたことを幸運と思います。今後も安心してリハビリを受け続けていられることは本当に皆

## 「車に負けたけれど」

さいたま市 小田島 歩

平成28年7月、日付もはっきり覚えていない。自転車で走っていたところ、飲酒運転の車に跳ね飛ばされて、救急の病院に運ばれた。9割以上の確率で命は助からないだろうと医師が言う中で治療、看病が行われてなんとか意識は戻った。命は助かったが記憶障害と右足を動かすににくいという病状は残った。生き残りはしたけど、これから生きていくのに負担となるものがあるという状態でそれらを改善するためリハビリをするために天草病院に転院した。

今ではどうしてなのかも思い出せないが病院で私が暴れることもあって、しばらくは看病で落ち着かせてもらって、だいぶ落ち着いた状態になったようだ。こんな手のかかる患者の手助けをしてもらっていたことにも感謝しているし、状態、調子を良くするためにリハビリ、介護を続けてもらったことにも頭が下がる。生き残ることは出来たけど、生きる上で負担となってしまうものを軽減したり、その負担に負けない身体作りのためにリハビリを続けてもらってきた。そのお陰か、車椅子だったはずなのに今では杖すら使わなくても歩けるくらいまで回復したし、記憶力にはまだ課題は残るが、おぼろげながら記憶に残るようになってきた。どちらもまだまだ改善したいところではあるが、改善しようと自分でそう考えることが出来るくらいまでに回復させてもらったことは大きい。

これからどういう方法で改善しようか、改善できたら何をしたいとか、そういう事を



考えると楽しい。今日退院だけれども、通院もさせてもらえるし、リハビリで練習したことを参考にしたり通院の時に担当の人に聞くことで、自宅での改善方法の参考にすることもできる。今まで面倒をみて下さってありがとうございました。これから生きていくのに、良い効果を与えてもらったと思っています。

(投稿日 平成29年2月27日)

## 「感謝の気持ち」

境町 野口 昌枝

ある日突然の出来事でした。昼食後1時間くらい経ってから洗濯物を片付けなければと思い立ち上がったとたん後ろに倒れました。気が付いたときに時計を見たら13時15分過ぎでした。起きて夕飯の支度をと思い身体を動かそうとしましたが上半身は動くのに下半身は動かなかったのです。誰かに助けをと思ったのですが電話も近くになく誰か来るのを待っていましたが誰も来ませんでした。夕方16時半を過ぎた頃に新聞の集金の方が来たので大きな声を出して「助けて!」と叫びました。その声を聞いて家の中に入ってもらい私の姿を見て直ぐに子どものところへ電話をしてもらいました。帰って来た子どもに救急車を呼んでもらい小張総合病院へ行くことになりました。病院に着くと直ぐに診て頂き検査の結果、左大腿骨骨折とのことでした。手術は一週間後となり手術までの間は痛みとの闘いでした。11月4日の午後手術が始まり夕方部屋に戻りましたが麻酔が切れた後は痛みがあり大変でした。手術の日から二日後リハビリが始まりました。痛みもありませんが先生の言っているように出来なくて大変でした。その内にリハビリの先生から越谷にすごいリハビリ専門の大きな病院があると教えてもらいま

した。その話は子供たちにも伝わっており子供たちから天草病院に行って見て来たよと言われました。大きな病院で理学療法士、作業療法士の先生たちが大勢いるので心配しなくて安心して入院できるところと言われました。天草病院にお世話になる日が決まり病院に着いて受付で手続きをすませ部屋に案内されました。食事後、部屋で待っていると理学療法士の先生が来て車椅子に乗ってリハビリ室に案内されました。そこには患者さんが大勢いてその中で私も先生にみてもらいました。

色々な話をしながらしてもらいその日のリハビリは終わりました。朝起きて一番大変だったのは靴下が履けず1時間かかったことです。その話を先生にしたら靴下を早く履けるように道具を作ってくれました。本当に有難かったです。色々なリハビリが始まり立てるようになってから輪投げの訓練や廊下に出てボーリングをしたりサッカーをしたり、足に力をつけるため階段訓練をしました。それが出来るようになったら自転車に乗って漕ぐ足の力をつける訓練、歩行訓練を毎日続けました。先生達も一生懸命に教えてくれるのになかなか出来なくて申し訳なく思っています。色々教えてもらうのですが頭と体が別々になって困っている日も何日もありました。そんな時、スタッフや周りの方から「上手に歩けるようになってから心配ない」と言われ嬉しかったです。

天草病院の方たちは私にとって家族みたいに思います。他の病院にくらべこんなに楽しくリハビリができ、骨折したところの痛みもなく歩くこともできるようになりました。先生たちの手は魔法の手のように思いました。先生と一緒に院外にも歩いて行けるようになり退院する日も決まりました。スタッフの皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。(投稿日 平成28年11月25日)

## リハビリテーション部 新入職員のご紹介

4月1日より、個性豊かな33名の新入職員がリハビリテーション部の仲間に加わりました。

### 理学療法士



田中 けいです。  
特技は神経衰弱とスケートです。



三原 拓です。  
年の割りに老け顔だとよく言われます。



強矢直輝です。  
PTです。前職は電気工事士です。



江原沙耶です。  
高身長はただの遺伝で、運動音痴です。



新井英也です。  
恋に恋する23歳。独身です♡



豊島 蒼です。  
そうって名前で、まざらわしいです。



江口俊也です。  
全ての女性がボクのタイプです♡



清水健人です。  
ラグビーで股関節脱臼経験あります。



吉場夏美です。  
よく食べます！よく笑います！



須田一樹です。  
こんな顔でもトロが好きです。



圓山千夏です。  
越谷市で生まれ育ちました！



清家雅斗です。  
超ビビリで、急に触られると跳ねます。



浅田貫太です。  
運動神経はバツグンです。



岡田健太郎です。  
ハリネズミを飼っています。



### 老健施設



高川美穂です。  
静岡より戻り、また働かせて頂きます。



鳥嶋美風です。  
笑顔を大切に仕事に取り組めます。



## 作業療法士



佐藤亜紀です。  
AKI→IKA→  
イカで覚えて  
下さい。



鈴木健大です。  
名前負けせず、  
大きく育ちたい  
です！



望月詢也です。  
沖縄顔ですが、  
生まれも育ち  
も埼玉です。



伊藤早由です。  
八重歯が特徴  
24歳元氣一杯  
頑張ります！



石井ハルです。  
いつ何時もゲッ  
プが出せま  
す！(笑)



梅原圭吾です。  
弓道とエレキ  
ギターが大好  
きです！



中村勇希です。  
ラテアートとバ  
トミントンが得  
意です。



岩井由祈子で  
す。好きな食べ  
物は満州の餃  
子です。



田中紗恵です。  
弱そうで、実は  
握力40Kgあり  
ます(笑)



佐藤太一です。  
緊張すると方  
言が多くなりま  
す(笑)



森岡愛美です。  
よく「変わっ  
てるね」と言わ  
れます！



## 言語聴覚士



渡邊光子です。  
元カメラマンの  
新人STで  
す！！



田中奈央です。  
旅行好きのア  
ラサーです！



鈴木智也です。  
春日部では迷  
子になりませ  
ん！



石田渚です。  
ビションフリー  
ゼを飼ってい  
ます。



磯安莉沙です。  
9年間はソフト  
部でピッチャー  
でした！



小合澤秀樹です。  
服と音楽が好きな  
長野県民です。



## 編 集 手 帳

＊今、世界は激動の中にあると言っても過言ではないと思います。世界各地で内戦があったり、テロ事件があったり、貧困や難民問題があったりと、人間の命や尊厳に関わる問題が多数勃発しています。我が国の状況はどうでしょうか。国権の最高機関で、かつ、国の唯一の立法機関である国会は、果たして私達の「安全」「安心」「満足」の為に有効に機能しているのでしょうか。「森友学園」一色で良いのでしょうか。今月8日発行の産経新聞「産経抄」の記事が示唆に富んでいるので、少し長くなりますが以下に引用してみます。

＊外務省は3月、外交に関する国内世論調査を公表した。それによると、東アジアの安全保障環境は一段と厳しさを増していると考える人は9割近い88.5%に上り、前回平成27年12月の調査を6.4ポイント上回った。国民は「今そこにある危機」に気付いている。にも

かかわらず別天地のようなのきな議論が延々と続いているのが国会である。民進党議員が「国民と日本社会の最大の危機」と主張し、「総力戦で粉碎」と訴えるのは、北朝鮮の核でもミサイルでもなく、一般市民は対象外の「テロ等準備罪」を新設する組織犯罪処罰法改正案のことなのだ。国民意識から周回遅れの野党や一部マスコミをともに相手にするよりも、政府にはもっとやるべきことがある。安全保障上の不備や、それを解消するために必要な措置を真摯に訴えてもらいたい。

＊皆様、上記「産経抄」の意見をどう受け止められますか。ところで、「有事の安全保障」「平時の社会保障」を論じることが、国会の大事な役割と言われますが来年度は、診療報酬・介護報酬の改定があります。つまり、社会保障が前進するのか後退するのかが問われています。社会保障の充実先進国としての基本的条件であることを忘れてはならないと思います。

(理事長天草大陸)

## 当法人施設が取得する第三者評価認証

患者さんが病院を評価するには、その病院自身の「自己紹介」も参考になりますが、第三者の評価も重要です。当院では「病院機能評価機構」と「ISO」の認証を取得しています。

なお、老人保健施設でも「ISO」の認定を受けています。



### 表紙のことば

この作品は、A病棟で毎週木曜日に行っている集団レクリエーションで作った「切り絵」です。集団レクリエーションは、患者さんが季節を感じられるように、作業療法士を中心に患者さんと共に作品作りを行っています。出来上がった作品は病棟のデイルームに飾り、患者さんも職員も季節の移り変わりを楽しんでいます。